

ZONE pick up! Green zone

3階 グリーンゾーン <哲学・歴史・自然科学・技術工学>などの本を集めた図書フロア

<メイン展示>『ものづくりからfabricationの時代へ!』

デジタル工作機器の小型化・低価格化が急速に進み、生産者と消費者が分断されていた今までの「ものづくり」が大きく変わろうとしています。今と昔とを比べながら、誰もが生産者となり得る、この時代のものづくりを考えます。

「印刷技術」

世界を魅了した浮世絵の時代から... 今いま

いまやプリンターは3Dの時代!

昔むかし

今いま

<講座関連>「グリーン・イノベーション～環境と持続可能な社会の実現に向けて～」

サービス・ニュース Service & News

貸出サービス

ipadで「**聞蔵Ⅱスマホ版**」も使えます!

朝日新聞・アエラ・週刊朝日の過去10年分の記事を、テーマやキーワードで検索できる、朝日新聞社のデータベース「聞蔵Ⅱスマホ版」のiPadでの提供を開始します。調べものや時事ネタ収集にどうぞ!

提供期間 2013年12月1日(日) ▶ 2014年3月31日(月)

日比谷図書文化館が「Library of the Year 2013 優秀賞」を受賞しました!

10月29日、横浜市で開催された第15回図書館総合展で「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2013」の表彰式がありました。当館は、従来の図書館にプラスして、ミュージアムもあり、文化活動の場となっています。本と人、人と人との交流から学び、つながることのできる複合施設として、新しい活動に意欲的に取り組んでいる点が評価され、優秀賞をいただきました。今年9月には来館者100万人達成し、より一層皆さまに愛される公共図書館を目指してまいります。

▲表彰の盾は当館1階に飾っています。

「Library of the Year」とは

これからの日本の公共図書館のあり方を示唆する、先進的な活動を行っている機関(図書館に限らない)に対して、NPO法人知的資源イニシアティブ(IRI)が毎年授与する賞で、今年は第8回目になります。

12月の展示情報 ※展示内容は変更する場合がございます

- 2F パープルゾーン**

「**エドノミクス 江戸の経済事情**」

江戸のショッピングエリア、金貨一両の価値、江戸のリサイクル事情、下級武士の内職などの資料から江戸っ子の金銭感覚が見えてくる!? 時代小説をさらに楽しむ副読本としてご利用ください。

 - 常設展示 ▶ 「日比谷図書館の歴史」「太田道灌コーナー」
 - 特別展示 ▶ 「鎌倉と江戸—中世と近世の武士—」(三角台) (~12月中旬)
- 2F オレンジゾーン**

「**物流×消費2014 ~モノの流れの明日を読む~**」

国際物流ハブ、TPP(環太平洋パートナーシップ)協定、フェアトレード、フードデザートなど、国際的な課題と地域的な課題が交差する物流と消費のこれからについて考えます。

 - 「UPDATE—ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ欄—」
 - 常設展示 ▶ 「アメリカンシェルフ」
- 3F ブルーゾーン**

「**解説で選ぶ本**」(12月中旬~)

普段、何気なく目にして、「解説」に焦点を当て、タイトルや著書名からではない、「第三者の目」から選ぶ読書を提案します。

 - 「ことば典の世界」(~12月中旬)

「原子心母」芸術における「心霊」の研究

当館スタッフの推薦本を紹介します。

おすすめする人 **榎木野衣** 著

1996年、モラトリアムを謳歌していた私にとって、東京は遊園地のような魅力がありました。デパートの展覧会、ミニシアター、CDショップ、古着屋、本屋……。街の至る所に刺激が溢れ、アート、映画、音楽、文学、サブカルチャーが互いに呼応しながら蠢いていました。同年出版のこの本は、私にその時代の空気を呼び起こさせました。

河出書房新社 1996年

副題の通り、記憶、幻覚、知覚といった心的現象を多様な芸術を切り口に考察している。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

近代日本を切り拓いた人々は、西洋文明を受け入れながらも、漢学の素養にもとづく江戸期の教養を大切に継承していました。本展では明治・大正期の官僚として活躍した内田嘉吉の蔵書から、江戸期に教養書として読まれた「群書類従」や「貞観政要」「武備志」などを紹介しています。また、2F 図書フロアには国の重要文化財に指定されている版本で増られた「群書類従」も展示しています。

※漢学(かんがく)：漢語・中国語・漢文による学問を広く漢学と称する。中国文化に由来する漢文・明語期(洋学)・蘭学・国学に対して

日比谷で漢学に出会う。

4階 特別研究室企画展示のご案内

「近代日本を支えた江戸・明治の教養」

第1部「漢学の素養—内田嘉吉が求めた明治に伝わる江戸期の教養」

武備志 ぶひし

膨大な図譜が添付されている、明代中国の兵法書。1621年に刊行され、全240巻に及ぶ。

群書類従 ぐんしょるいじゆ

塙保己一(はなわほきいち)が編纂し、古代から江戸時代初期までの国史・国文学を主に収めた一大叢書。

貞観政要 じょうがんせいよう

唐の時代、貞観の治とよばれる平和な時代をもたらした治政の要(かなめ)が記されており、古来から帝王学の教科書とされてきた。

<講演会>

古書で紐解く近現代史セミナー 第4回

『群書類従』とその精神の継承—本の中身を伝えるということ—

講師：齊藤 幸一 (公益社団法人温故学会理事長)

ナビゲーター：菅谷 彰 (千代田区立千代田図書館ゼネラルマネージャー)

江戸期の偉人・塙保己一が編纂し、今日まで継承されている『群書類従』と、貴重な古書が手に取って読める当館所蔵の内田嘉吉文庫。双方を手掛かりとして、「本の中身を伝える」ことをテーマに、講師とナビゲーターの二人がお話しします。

- 日時：11月30日(土)14:00~16:00(13:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください ■申込み：電話(03-3502-3340)

<展示解説セミナー>

明治官僚・内田嘉吉の漢学の素養

ナビゲーター：森田 健太郎 (特別研究室ナビゲーター)

通信官僚・内田嘉吉が求めた江戸期以来の教養書や、漢学の素養を窺わせる数々の貴重な資料をご紹介します。

- 日時：12月19日(木) 18:30~20:00(18:10より受付)
- 会場：4階 セミナールームA
- 定員：20名(申込順) ■参加費：500円
- お問合せ：特別研究室 電話(03-3502-3340)

calendar 開館時間：平日10時~22時、土曜10時~19時、日祝10時~17時、休館日

2013年 12月							2014年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	31	
29	30	31											

※1月18日(土)、19日(日)▶図書特別整理による部分(図書フロア)休館

■お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

access

東京メトロ
●千代田線
●日比谷線
●丸の内線
「霞ヶ関」徒歩5分
JR「新橋」徒歩10分
都営地下鉄
●三田線
「内幸町」徒歩3分

駐車場
当施設に駐車場はございません。公共機関をご利用ください。

12・1月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」本「スキルアップ」芸術「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

12/4 (水) シリーズ「文化資源の楽しみ方」第1弾
『響夜学～経営と文化のいい関係を考える～』
第1回「文化を守るには」
講師：徳川 義崇（徳川黎明会会長、徳川美術館館長、八雲産業代表取締役社長）
「響夜学（ひびやがく）～経営と文化のいい関係を考える～」では、「経済と文化」を両輪として活動している識者を招き、経済活動のなかで有機的に結びついた文化豊かな社会づくりをともに考えます。第1回は、尾張徳川家第22代当主である徳川義崇（とくがわよしとか）氏と、地域コミュニティの活動、とくに「祭り」を切り口にして、文化継承のあり方や次世代育成の方法論、文化を守っていくかたちをともに考えます。（主催：一般財団法人デジタル文化財創出機構、企画：連想出版）
■日時：12月4日（水）講演： 19:00～20:00（18:30より受付）
懇親会：20:15～21:15
■会場：4階スタジオプラス（小ホール）
■定員：40名 ■参加費：3000円（懇親会費用含む）



12/5 (木) 第20回江戸歴史講座
出光美術館「江戸の狩野派～優美への革新」展 連携企画
江戸の美 – 狩野派の革新的な美
講師：宗像 晋作（出光美術館 学芸員）
狩野派は、始祖の正信（まさのぶ）（1434～1530）が室町幕府の御用絵師となったことに始まり、その地位と画法を継承し、およそ400年の歴史を刻み、日本絵画史上革新的な側面を
定員に達したため、受付を終了しました。

12/7 (土) ピースビレッジ 第19回
「アインシュタインや スティーブ・ジョブズを育てる社会を目指して」
講師：小田 知宏（NPO法人発達わんぱく会理事長）
発達障がいや早期に適切な療育を受ければ、健全に発達して自立生活を送る事が可能であるばかりか、集中力が高い、行動力がある、努力の継続等の長所を生かして、「天才」と呼ばれるような成功を収める人たちもいます。彼らを活かして日本の社会をどう変える？（主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム）
■日時：12月7日（土）14:00～16:30（13:30より受付開始）
■会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■定員：60名 ■参加費：3000円



12/13 (金) 千代田区・米国大使館 第2回アメリカン・シェルフ講演会
「アメリカの公共図書館におけるトレンド分析とマーケティング」
講師：アルカ・パトゥナガー（米国大使館広報・文化交流部情報資料担当）
トレンド分析の専門家としてニュージャージー州立図書館で勤務したほか、ビジネス、サイエンス、キャリア支援の専門家として大学、公共図書館で30年近く勤務した講師がユーザー中心のナレッジ・マネジメントのプロとしてアメリカの公共図書館の様々な取り組みについて講演します。（逐次通訳付き）
■日時：12月13日（金）19時～20時30分（18時30分より受付）
■会場：日比谷コンベンションホール（大ホール）
■定員：200名 ■参加費：無料



▶参加申込：電話（03-3502-3340）またはEメール（college@hibiyal.jp）にて、講座名、お名前（よみがな）、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/12 (木) 千代田区民講座 音のサロン 第6回
名曲の数々を「オーディオ用高音質ディスク」で聴く～ベートーベン「第九」が変えたレコードの歴史～
講師：森 芳久（日本オーディオ協会諮問委員、同協会「音の日」実行委員長）
エジソンが発明した蓄音機は世界で初めて人の声や音楽を録音することに成功しました。その後、多くの音楽家や技術者たちの努力で、音質や記録時間などが飛躍的に向上し、今日のCDやBlu-rayなどの高音質メディアを誕生させました。ベートーベンの「交響曲第9番」がその歴史に果たした意外な影響などと共に、と一緒にレコードの歴史をたどります。
■日時：12月12日（木）18:30～ 20:00（18:00より受付）
■会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■定員：60名 ■参加費：無料



12/14 (土) ひびや落語会@ライブラリー 唄 -伍-
出演：柳家 さん生、柳家 甚語楼、他
今回のひびや落語会は、赤穂浪士討ち入りの日。忠臣蔵に絡む演目も期待出来る中、冬といえばこの唄！というラインナップでお送りします。「夢金」「芝浜」など冬の情景が見えてくるような素晴らしい古典落語の世界を堪能してみませんか？（主催：DNA/協力：ジグシステムジャパン）
■日時：12月14日（土）14:00～16:00（13:30より受付）
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール） ■定員：200名
■参加費：木戸銭（全席自由）：前売2000円/当日 2500円/千代田区民1500円
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



12/14 (土) 「旅する漱石～文豪の歩いた道をたどって～」
講師：牧村 健一郎（朝日新聞社記者）
鎌倉、江の島、京都、熊本、松山、ケンブリッジ、パリに大連……飛行機も新幹線もない明治時代、夏目漱石の旅は日本全国、そして世界にまで広がっていた——朝日新聞の“後輩”記者・牧村氏が追体験した漱石の旅。当時のエピソードを交えながらおくる旅のお話、ぜひお楽しみください。（主催：株式会社ネットアドバンス）
■日時：12月14日（土）14:00～15:30（13:30より受付）
■会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
■定員：60名 ■参加費：2000円



古文書塾でらこや発！ 江戸文化特別講座（全7講座）
日比谷カレッジ「古文塾でらこや」の多彩な講師陣による特別講座を開講いたします。江戸時代を中心とした資・史料、伝書、手紙などを用いながら、具体的に歴史の真実に迫ります。各講座とも全5回での開催となります。

- ①「浮世絵を読む」 ■日時：1月27日（月）～ 15:00～16:30
色鮮やかな浮世絵版画を「読み」ながら、江戸文化を講喫します。
- ②「文人画と碑文・掛軸を読む」 ■日時：1月6日（月）～ 18:30～20:00
くずし字と漢詩文の両方を学びながら、豊かな文人世界を読み解きます。
- ③「大久保利通の手紙を読む」 ■日時：1月7日（火）～ 19:00～20:30
建白書などを通じて、大久保の軌跡を具体的に深く理解します。
- ④「くずし字で読み解く茶の湯の伝書」 ■日時：1月9日（木）～ 13:30～15:00
江戸時代の人々がどのように茶の湯を享受していたかを探ります。

12/17 (火) 源氏物語、そのゆるぎなき表現（全3回）
第3回「源氏物語のドラマ性」
講師：林 望（作家・国文学者）
ゲスト：石山 智恵（フリーキャスター）
見事な表現によって彩られている『源氏物語』。この名作の「表現」に着目し、いくつかのテーマを設けて物語中の特に筆の冴えを見るべきところを抽出し、詳しく読んでいく全3回講座です。第3回は、NHKラジオ『つながるラジオ』などのキャスターとして知られ、放送の世界でご活躍の石山智恵氏をお迎えし、源氏物語のなかでも特にドラマ性の顕著なところを抜き出して、朗読劇として源氏物語を読んでいきます。朗読のパフォーマンスのスペシャリスト石山氏と、『詠訳源氏物語』著者林氏のふたりで読む、「ラジオ名作座」風の源氏物語は必見です。（主催：上廣倫理財団）
■日時：12月17日（火）18:30～20:30（18:00より受付）
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール） ■定員：200名
■参加費：500円（千代田区民及び学生は無料）※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。



12/26 (木) 第21回 江戸歴史講座 幕末軍事事情
－NHK大河ドラマ「八重の桜」から考える－
講師：小西 雅徳（日本銃砲史学会理事・板橋区教育委員会学芸員）
会津のジャンヌ・ダルクと呼ばれた山本八重は慶応四年（1868）、戊辰戦争での会津籠城戦で、アメリカ輸入の連発スベンサー銃を使用して官軍側に対抗した女傑でした。彼女がなぜ鉄砲を構えることになったのか、幕末期における砲術、軍事制度のあり方から歴史的背景を考えると同時に、幕末期に生まれた多様な人材によって近代日本の土台が築かれたことを、NHK大河ドラマ「八重の桜」にて資料提供・技術提供を行った、小西雅徳氏にご紹介いただきます。
▲13ドイムハンドモルチール砲・砲弾幕末明治 板橋区立郷土資料館所蔵
■日時：12月26日（木）19:00～20:30（18:30より受付）
■会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■定員：60名
■参加費：1000円（千代田区民 500円）※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



1/9 (木) シリーズ「文化資源の楽しみ方」第1弾
『響夜学～経営と文化のいい関係を考える～』
第2回「小布施町 30年の軌跡」
講師：市村 次夫（株式会社小布施堂、株式会社榊一市村酒造場代表取締役）
北信地域随一の文化のまち、地域振興のモデルとして、世界的にも著名な長野県小布施町で酒造業や菓子業を営む小布施堂は、景観や街づくり、地域活力の源である人材育成などに大きな力を発揮しています。「響夜学（ひびやがく）～経営と文化のいい関係を考える」シリーズ第2回は、小布施堂の市村次夫氏を招き、地域の経済活動に文化資源や文化事業をいかに位置付け、持続性ある活動として何を次世代につなげるかを考えます。（主催：一般財団法人デジタル文化財創出機構、企画：連想出版）
■日時：1月9日（木）講演：19:00～20:00（18:30より受付）
懇親会：20:15～21:15
■会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
■定員：40名 ■参加費：3000円（懇親会費用含む）



1/10 (金) 千代田区民講座
脳と心 人体の神秘を語る
講師：林 勝彦（元NHKプロデューサー、科学ジャーナリスト）
生命38億年の進化の結晶であり、神秘に満ちた人体。最大の謎は「脳と心」と言われています。ストレス社会と言われる現代、心の病を患う人もいれば、100歳を超えて元気に活躍する人もいます。そんな人体の不思議について、NHKスペシャル『驚異の小宇宙・人体』4シリーズ（脳と心、遺伝子、DNAなど）の元プロデューサーが語ります。（主催：神田雑学大学）
■日時：1月10日（金）19:00～20:30（18:30より受付）
■会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
■定員：60名 ■参加費：無料

1/15 (水) ほか デキるグローバルビジネスパーソンになるための財務塾2013
企業価値創造の総まとめ
講師：手島 直樹（経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル（株）代表取締役）
第1回目は「経営再建」に成功した企業、もしくは成功しつつある企業を取り上げ、復活への足取りを辿りながら企業価値創造のプロセスを確認します。第2回目は、「創業経営者の経営」を取り上げ、リスクをコントロールしながら企業価値を創造している彼らの経営のツボについて考えます。
■日時：1月15日（水）第1回
「どのように企業は再生されるのか？」
1月29日（水）第2回
「創業経営者の経営は何か違うのか？」
いずれも19:00～20:30（18:30より受付）
■会場：4階スタジオプラス（小ホール） ■定員：40名 ■参加費：3000円（2回分）



1/22 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス
「【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考－解空間の見える化からアイデアを創造する」
講師：石橋 金徳（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科特認助教）
富田 欣和（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）
麻生 陽平（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）



好評【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考の第3弾。初参加の方、第1・2弾に参加された方も新たに学べる内容です。新規ビジネス提案から職場の人間関係構築まで、様々な場で役立つイノベティブ思考をぜひ体験してみてください。ワークショップ初心者の方も大歓迎です。※ワークショップ形式の講義です。（主催：イノベティブ・デザインLLC）
■日時：1月22日（水）19:00～21:00（受付開始18:30）
■会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
■定員：48名 ■参加費：3000円

コンシェルジュより
Merry Christmas!
今年も日比谷図書館ではクリスマスツリーが皆さまをお迎えています。期間中、コンシェルジュによる近隣のイルミネーションなどクリスマスに関する様々な情報もご案内しています。ぜひ素敵なクリスマスをお過ごすための参考にしてください。
■期間：2013年12月1日（日）～12月25日（水） ■場所：1階ホール

図書特別整理による部分（図書フロア）休館のお知らせ
2014年1月18日（土）、19日（日）
図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。（図書の貸出・閲覧席の利用等ができなくなります。本の返却は国会通り側ブックポストをご利用下さい。一部の資料を除く）図書フロア以外の施設は通常どおり利用できます。1月20日（月）は休館日です。（文化財事務局は除く）

